



50年祭当日は、神殿でおつとめが勤められた後、「祖霊殿の儀」が執り行われた（11月14日）



雨のなか、大勢の人々が参列した



天理大学による記念シンポジウム（11月11日）



二代真柱様のご足跡を振り返る記念展が、42日間にわたって開催された

# ご遺訓を胸に 陽気ぐらしへ

## 中山正善・二代真柱様50年祭

中山正善・二代真柱様の50年祭が11月14日、中山善司真柱様を祭主に、奈良県天理市の天理教教会本部（神殿・祖霊殿）で執り行われた。二代真柱様は明治38年、中山真之亮・初代真柱様、たまへ様の長男として誕生。満9歳で真柱の理を継承され、その生涯を通じて「道の芯」として全教の先頭に立ち、道の子を導かれた。昭和42年に満62歳で出直され、50年の節目を迎えたこの日。折からの雨のなか、参集した人々は、二代真柱様のご遺訓の数々を胸に刻み、心新たに陽気ぐらしへ歩みを進めることを誓った。

